８．陸奥上街道（むつかみかいどう）

選定箇所：天王寺～中里（宮城県大崎市岩出山）

概要：　奥州街道から分岐し、岩ヶ崎、真坂を通って岩出山に出て、天王寺追分から出羽街道へと至る道である。元禄２年（１６８９）には松尾芭蕉が奥州行脚の途中、平泉からの帰途にこの道を通ったことが知られ、街道の両側約１．５ｋｍにわたり松並木の続く「千本松長根」や盛土が高く対をなしている天王寺一里塚など７か所約４．５ｋｍが復元整備されています。旧街道の面影を残しており、一部は国の史跡としても指定されている。